

甘肅省 概況



1 基本概況

甘肅省（かんしゅくしょう、発音：Gānsù Shěng）は、中国北西部に位置し、省都は蘭州市。漢族のほか、回族、チベット族、トンシャン（東郷）族、バオアン（保安）族など多くの少数民族が居住している。

甘肅省は中国西北部の黄河上流域にあたり、多くの民族と文化が往来したシルクロードが通っていることで有名。かつてシルクロード上のオアシス都市として繁栄した武威・酒泉・張掖・敦煌は、現在も観光地として栄えている。甘肅省の面積は 42.58 万平方キロメートル、日本の国土の約 1.15 倍とやや広い。

甘肅省は、西南から東北に向かう細長い地形であり、気候は南から北にかけて、亜熱帯モンスーン、温帯モンスーン、温帯大陸性乾燥、高原山地気候の 4 つの主要タイプが分布し、乾燥地帯と半乾燥地帯が総面積の 75% を占めている。

2 歴史

甘肅省の歴史は旧石器時代に遡り、隴東地区には約 20 万年前の人類の生活の形跡が残されている。商代には中国で最も早く農業が行われ、周代には天水地区で定住が始まった。

春秋戦国時代を経て、秦による統一後は郡県制が導入され、漢代には河西回廊の開発により、東西交易の重要拠点となりました。南北朝時代には政権の変遷が激しく、行政区画も混乱しましたが、隋唐時代に入り整備されました。

宋代には西夏が甘肅の一部を支配し、元代には正式に「甘肅行中書省」が設置されました。明清時代には行政区画が確立され、清代には新疆が分離されました。

中華民国期には青海省と寧夏省が分離され、1949 年の中華人民共和国成立後は行政区画の再編が進められました。文化大革命期には「甘肅省革命委員会」となりましたが、1979 年に「甘肅省人民政府」に改称されました。

2001年から2004年にかけて「撤地設市」（地区を廃止し市を設置）が実施され、現在は12の地級市と2つの自治州、86の県級行政区（県・市・区）で構成されています。

この長い歴史を通じて、甘肅省は中国の東西を結ぶ重要な位置を占め続け、その行政区画は時代とともに変遷しながら、現在の形に至っています。

面積	42.58万平方キロメートル
人口（2021年末）	2,490.02万人（前年比0.44%減、全国占率：1.76%） 2020年人口 総人口：2,501.98万人（前年比2.17%減） 男性：1,270.09万人（前年比2.78%減） 女性：1,231.89万人（前年比1.54%減） 漢族：2,236.34万人（前年比3.36%減） 総人口比率 89.38%、前年比1.31%減 少数民族：265.64万人（前年比10.20%増） 総人口比率 10.62%、前年比12.62%増
GRP(2021年)	10,243.31億元（前年比14.07%増、全国占率：0.90%） 第一次産業 1,364.72億元（前年比14.87%増） 第二次産業 3,466.56億元（前年比22.71%増） 第三次産業 5,412.02億元（前年比8.97%増）
対外貿易の状況（2021年）	輸出入総額：491.9265億元（前年比28.63%増） 輸出総額：96.9151億元（前年比13.17%増） 輸入総額：395.0114億元（前年比33.08%増）
地級行政区	14個
県級行政区	86個
郷級行政区	1,229個
気象（2021年）	平均気温：9.2℃ 降水量：433.2mm
就学	小学校入学率：99.99% 小学校進学率：99.31% 中学校進学率：63.86%

●中国共産党甘肅省委員会書記

胡昌昇（男） 漢民族、1963年12月生まれ、江西省高安出身

1986年1月に中国共産党に入党

第20期中央委員会委員、甘肅省党委員会書記、省人民代表大会常務委員会主任、

省軍区党委員会第一書記

1986. 07～91. 01	成都地質学院地質鉱物探査学科教師、団総支部青副書記兼書記
1991. 01～93. 03	成都地質学院地質鉱物探査科学生党支部書記
1993. 03～94. 01	成都地質学院地質鉱物探査科党総支部副書記
1994. 01～97. 02	成都地質学院資源経済科党総支部副書記
1997. 02～2002. 11	成都地質学院資源経済科党総支部書記
2002. 11～03. 01	四川省荊経県党委員会書記
2003. 01～04. 02	四川省荊経県党委員会書記、四川省人民代表大会常務委員会主任
2004. 02～05. 10	四川省雅安市党委員会常務委員会委員、四川省組織部長
2005. 10～06. 01	四川省雅安市党委員会常務委員会委員、四川省組織部長、漢元県党委員会書記
2006. 01～06. 10	四川省雅安市党委員会常務委員会委員、四川省組織部長、漢元県党委員会書記、県人民代表大会常務委員会主任
2006. 10～06. 11	四川省遂寧市党委員会副書記
2006. 11～07. 02	四川省遂寧市党委員会副書記兼四川省市長代行
2007. 02～12. 02	四川省遂寧市党委員会副書記兼市長
2012. 02～12. 04	四川省甘孜県党委員会副書記
2012. 04～15. 06	四川省甘孜県党委員会書記
2015. 06～17. 07	青海省党委員会常務委員会委員、組織部長
2017. 07～19. 02	福建省党委員会常務委員会委員、組織部長
2019. 02～20. 09	福建省党委員会常務委員会委員、厦門市党委員会書記
2020. 09～21. 01	福建省党委員会副書記、厦門市党委員会書記
2021. 01～21. 02	黒龍江省党委員会副書記、省政府党指導組書記
2021. 02～22. 12	黒龍江省党委員会副書記、黒龍江省知事、省政府党指導組書記
2022. 12～23. 01	甘肅省党委員会書記
2023. 01～	甘肅省党委員会書記、省人民代表大会常務委員会主任

●甘肅省人民政府省長省長

任振鶴（男） トウチャ族 1964年2月生まれ、湖北省鶴峰出身

1984年12月に中国共産党に入党

第20期中央委員会委員、甘肅省党委員会副書記、省政府省長兼書記

1982. 09～84. 03	湖北省鶴峰県纖維公司統計学者
1984. 03～86. 09	湖北省鶴峰県民族貿易局業務部股副股長
1986. 09～88. 07	華中工学院技術経済学専攻
1988. 07～88. 10	湖北省鶴峰県民族貿易局弁公主任
1988. 10～90. 10	湖北省鶴峰県五里区副区長
1990. 10～92. 12	湖北省鶴峰県郊外区党委員会副書記兼区長
1992. 12～93. 11	湖北省鶴峰県郊外区党委員会書記兼区長
1993. 11～96. 03	湖北省河峰県党委員会常務委員会委員、副県長
1996. 03～96. 11	湖北省鶴峰県党委員会副書記

1996. 11～97. 01 湖北省利川市党委員会副書記兼市長代行
 1997. 01～98. 12 湖北省利川市党委員会副書記兼市長
 1998. 12～2001. 06 湖北省利川市党委員会書記
 2001. 06～02. 01 湖北省恩施州副州長、利川市党委員会書記
 2002. 01～03. 02 湖北省恩施州党委員会常務委員会委員、副州長
 2003. 02～03. 06 湖北省恩施州党委員会常務委員会委員
 2003. 06～06. 08 湖北省恩施州党委員会副書記
 2006. 08～08. 04 湖北省黄冈市党委員会副書記
 2008. 04～08. 06 湖北省咸寧市党委員会副書記兼市長代行
 2008. 06～12. 07 湖北省咸寧市党委員会副書記、市長
 2012. 07～12. 08 湖北省咸寧市党委員会書記
 2012. 08～15. 05 湖北省咸寧市党委員会書記、市人民代表大会常務委员会主任
 2015. 05～16. 12 湖北省副省長
 2016. 12～17. 02 湖北省党委員会常務委員会委員、襄陽市党委員会書記
 2017. 02～18. 05 浙江省党委員会常務委員会委員、組織部長
 2018. 05～19. 01 浙江省党委員会常務委員会委員、省規律検査委員会書記、省監察委员会主任代理
 2019. 01～19. 07 浙江省党委員会常務委員会委員、省規律検査委員会書記、省監察委员会主任
 2019. 07～20. 11 江蘇省党委員会副書記
 2020. 11～20. 12 甘肅省党委員会副書記、知事候補
 2020. 12～21. 01 甘肅省党委員会副書記、省政府党指導部書記、副省長、省長代行
 2021. 01～ 甘肅省党委員会副書記、省政府党省長、党指導部書記